

シャポヴァリアンツ・マネージメント会社
「ムルマンスク運輸ハブ (Murmansk Transport Hub)」社長スピーチ
「ムルマンスク運輸ハブ・プロジェクト」

ロシアはトランジット国として大きな潜在能力をもっていますが、現在わずか5%しか活用されていません。ムルマンスク運輸ハブ・プロジェクトが実行に移されると世界的規模で新たなロジスティックス・システムが誕生すると言えます。ロシアはこの新しいロジスティックス・システムをつくるために過去20年間にわたり着実な歩みを遂げてきましたことはこれまでの報告でご説明いただきました。まずロシア極東における港の整備が行われ、次の段階でシベリア鉄道沿いに光ファイバーが埋設されました。その後、ラピドゥス副社長よりお話がありましたように、ロシア国内を通過する貨物の通過速度の向上が行われました。ロジスティックス・システム形成の最終段階となるのがこれからお話いたしますムルマンスク運輸ハブの活用です。

ムルマンスク港はロシアの北に位置する港の中で唯一の不凍港です。2007年5月2日にプーチン大統領（当時）は輸送に関する国家会議をこのムルマンスクで開催し、昨年2008年12月8日にプーチン首相はプロジェクトの優先的実施の政府指令に署名しました。

ムルマンスク運輸ハブ・プロジェクトの発展予測にはスライド3ページ目左の折れ線グラフが示す3つのシナリオがあります。まずムルマンスク港へのアクセス鉄道の改修という小規模事業の実施により2020年の貨物取扱量は現在の2倍の5,200万tに増えると予想されます。また現在の積み替え需要を考慮して国内での貨物輸送と輸出貨物輸送を考えると2020年の貨物取扱量は8,400万tと予想されます。さらにロシアのトランジット国としての能力が発揮されると2020年の貨物取扱量は1億4,400万tとなります。スライド3ページ目右の棒グラフはプロジェクトが順調に進んだ場合に各貨物が絶対数値としてどれだけ伸びるかを示しています。

ロシア側はムルマンスク運輸ハブ・プロジェクトを戦略的な意味をもつ総合的なプロジェクトとして認識しており、プロジェクトは6つのパート（海運、物流と倉庫インフラ、鉄道輸送、道路輸送、航空輸送、産業間アспект）に分けることができます（スライド4ページ目）。運輸ハブを創り出し確実に発展させていく素晴らしい実績を日本の皆様はお持ちですので我々は是非ともそれを学びたいと思っています。具体的にはムルマンスク運輸ハブ・プロジェクトでは日本の野村総研に協力いただく予定です。

ロシアにおいては大規模プロジェクトを実行するためにPPP（官民連携手法）が確立されており、政府予算から拠出される資金、国営企業から拠出される資金、民間投資家の資金、これらを集約してプロジェクトを実行します（スライド5ページ目）。先ほどレヴィチン大臣からもお話がありましたように、現在の世界的金融危機のもとロシアの財政支出についても難しい状況がありますが、インフラ関連プロジェクトは金融危機以前に決定されたものですので一切変更は加えられることはありません。加えて世界はこれまでもインフラ関連プロジェクトを実行することによってのみ危機を脱してきました。我々は自らの義務を確認しておりますので、皆様にプロジェクトに参加していただくようお願いいたします。

ここでムルマンスク運輸ハブ・プロジェクトの内容を簡単に説明するとともに、プロジェクト実施にあたり国家が果たす役割についてご説明いたします。

スライド7～8ページ目はコラ半島における支線を含めた鉄道の建設・改修プロジェクトの内容が記されています。建設期間は8～9年、資金の回収期間は12～17年となっています。このプロジェクトは国家の参加なくしてはあり得ないものであることは明白です。2009年の我が国連邦予算では設計に関する資金と建設の初期段階の資金が盛り込まれています。

スライド 10 ページ目はコラ湾西岸の石油と石油製品の積み替えターミナルの建設プロジェクトです。建設期間は12年、資金回収期間も12年です。

スライド 11 ページ目はコラ湾西岸の石炭積み替えターミナルの建設プロジェクトです。建設期間は5年、資金回収期間は20年強です。

スライド 12 ページ目はコラ湾東岸にコンテナターミナルを建設するプロジェクトです。建設期間は4年半、資金回収期間は20年強です。

以上述べたプロジェクトは長期間にわたるものですが、インフラプロジェクトとしては標準的なものです。そのためロシア政府はこれらプロジェクトに参加することを表明しています。

スライドの1ページ目にムルマンスク運輸ハブの基本概念と世界における全体像が示されています。我々はこれをしっかりと認識しておりますので、日本の皆様が我々のプロジェクトに関心を持っていただくよう期待します。

ご清聴ありがとうございました。